

# 2-1 下水汚泥を原料とした脱水肥料と乾燥肥料 (岩見沢市)

○ 南光園処理場（岩見沢市）は、下水汚泥を活用し、脱水肥料（水分約80%）「スーパーゴールドユーキ」と乾燥肥料（水分約20%）「スーパーゴールドユーキD」を製造。

■国内資源の種類

・南光園処理場（岩見沢市）下水汚泥

■肥料の種類・肥料名称

○汚泥肥料  
・脱水肥料（水分約80%）  
「スーパーゴールドユーキ」  
・乾燥肥料（水分約20%）  
「スーパーゴールドユーキD」

■取組の経緯・内容・成果（見込み）

取組の経緯

・1978年頃から汚泥肥料の供給を開始。当時は下水道普及率も低くごく少数の農業者により全量農地還元。その後下水道の急速な普及に伴い、汚泥生産量が増加し全量農地還元が困難となったが、汚泥利用組合の発足、周知活動や散布支援など利用を推進。  
・2013年頃から再び安定的に全量農地還元。市は、汚泥肥料の運搬・散布支援等の費用を支出しても産廃コストが半減。

取組の内容

・下水汚泥を組合員へ無料で配布（脱水肥料は運搬・散布を市が支援、乾燥肥料は処理場で受け渡し）。  
・製造した肥料は、そのままの肥料利用のほか、脱水肥料については、稲わらや麦稈等と合わせて堆肥の原料や堆肥の腐熟促進剤として利用。

成果（見込み）

成果例：脱水肥料を利用した自家製堆肥を散布し、水稻で特別栽培農産物（化学肥料9割、化学合成農薬5割節減）の認証取得。現在更なる節減に向け検討中。

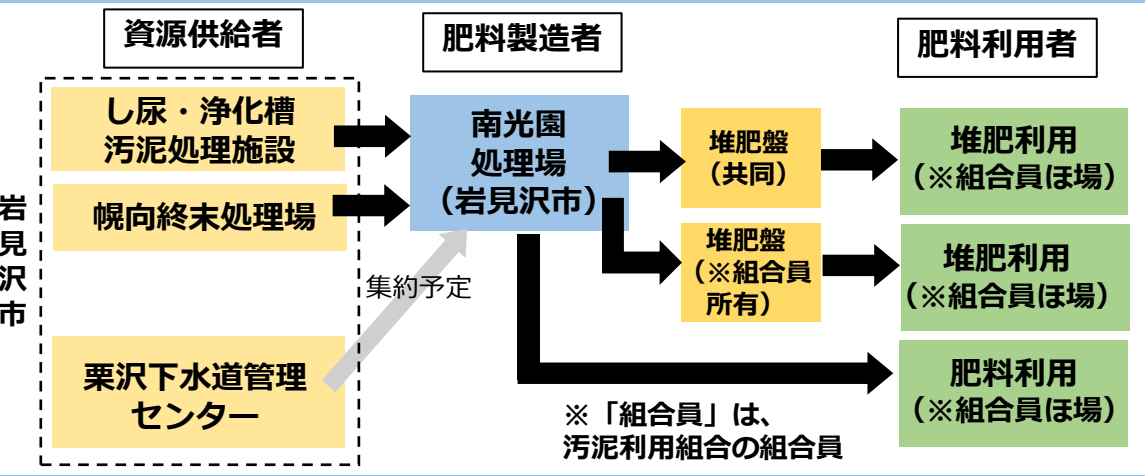
■作物

・稲  
・麦  
・たまねぎ 等

■主成分の含有量（%）、特徴等

| N              | P              | K              |
|----------------|----------------|----------------|
| 1.07<br>(4.85) | 0.93<br>(4.65) | 0.03<br>(0.13) |

※R3年度脱水肥料含有試験の平均値  
(括弧内は乾燥肥料)



■今後の課題・取組

・近年、生産可能量の倍近くの要望。  
・堆肥盤の整備（絶対数の不足等）。  
・汚泥中の夾雑物除去による品質向上。

堆肥盤

乾燥肥料